## 生活福祉部(局) における随意契約の実績 (令和7年度2/四半期分)

単位:円

					_				単位:円
No.	担当課	契約の名称	契約日	契約金額	   契約の相手方の名称 	契約の相手方の住所	地方自治法 施行令(根拠)	契約の相手方の選定理由	その他
1	保護·援護 課		令和7年8 月18日	3,850,000		那覇市久茂地1丁目12 番12号	地方自治法 施行令第167 条の2第1項 第2号	保有する生活保護システムは富士通Japan (株)が開発しており、既存システムの開発業者でなければ、システムの円滑な運用に著しく支障を生じるおそれがあるため随意契約とした。	特命随意 契約
2	障害福祉課		令和7年 7月1日	1,430,000	おきなわ障がい者相談支 援ネットワーク	沖縄県北中城村字安谷 屋1147 3階	第167条の2 第1項第1号	今回選定した同法人は、県内の障害者相談 支援に携わるものに対して専門性向上のため の研修事業等を行い、その活動に対し支援・ 助言を行うことで、障害者の地域生活の向上 に寄与することを目的として設立された法合支 に寄与することを目的として設立された法合支 援法に規定する相談支援専門員であり、相談 支援法に規定する相談支援専門員であり、相談 支援後事者の性者研修及び現任者研修 等の指定をうけ実施している実績がある他、 定障害者相談支援事業所その他の専門的に 行っており、障害福祉サービス事業所、 情がある。 以上のことから、同法人は、その有する専門 りを生かして、当該業務を効果的かつ円滑に りを生かして、当該業務を効果的かつ円滑に 実施することのできる県内唯一の法人で選定し た。	特命随意 契約
3	障害福祉課	令和7年度心の バリアフリー推 進事業委託業 務		16,971,000	ココロつながるプロジェクト2025事業共同体 ①沖縄広告株式会社 ②一般社団法人琉球スポーツサポート ③一般社団法人沖縄県セルプセンター	沖縄県那覇市天久2-7-7	第167条の2 第1項第2号	プロポーザル方式により広く公募を行ったところ1社から応募があった。企画提案内容等を選定委員会において審査したところ、左の社の提案は提案内容に優れていたため、契約の相手方として選定した。	

## 生活福祉部(局) における随意契約の実績 (令和7年度2/四半期分)

単位:円

									単位:円
No.	担当課	契約の名称	契約日	契約金額	   契約の相手方の名称 	契約の相手方の住所	地方自治法 施行令(根拠)	契約の相手方の選定理由	その他
4	障害福祉課	令和7年度手 話の推進委託 業務	令和7年7 月14日	8,000,000	沖縄広告株式会社	沖縄県那覇市天久2丁目 7番7号	第167条の2 第1項第2号	プロポーザル方式により広く公募を行ったところ1者から応募があった。企画提案内容等を選定委員会において審査したところ、左の者の提案は提案内容に優れていたため、契約の相手方として選定した。	
5	障害福祉 課	令和7年度沖縄 県障害者虐待 防止·権利擁護 研修委託業務	令和7年7	3,839,000	一般社団法人沖縄県社 会福祉会	沖縄県那覇市首里石嶺 町2-209-1		プロポーザル方式により広く公募を行ったところ1社から応募があった。企画提案内容等を選定委員会において審査したところ、左の社の提案は提案内容に優れていたため、契約の相手方として選定した。	
6	障害福祉課	令和7年度障 害者工賃向上 支援事業	令和7年8 月15日	6,668,000	一般財団法人沖縄県セルプセンター	那覇市首里石嶺町4- 373-1	第167条の2 第1項第2号	本事業の実施主体には、障害者の賃金及び 工賃の水準向上を図るため、障害者就労施設 等を取り巻く課題を適確に把握し、経営専門家 等との連携や研修会の企画運営を実施するこ とが求められる。 (一財)沖縄県セルプセンターは、障害者就労 施設等の生産製品の共同受注、受注のあっせ ん等を行っている県内唯一の団体であり、障 害者就労施設等との緊密な連携の下、本事業 を実施できる団体はほかにないことから、同セ ンターを契約の相手方とした。	特命随意 契約
7	生活安全 安心課	沖縄県物資輸 送マニュアル策 定業務	令和7年7 月24日	9,900,000	株式会社NX総合研究所	東京都千代田区神田和 泉町2番地		同業務の実施にあたり事業者の専門的な知見を活用するため企画提案プロポーザルを実施したところ同社について最も評価点が高かったことから契約の相手方として選定した。	
8	生活安全 安心課	沖縄県物資輸 送マニュアル策 定業務	令和7年9 月26日	1,126,917	特定非営利活動法人まちなか研究所わくわく	那覇市壷屋1-7-5 民衆ビル4階		プロポーザル方式により広く公募を行ったところ1団体から応募があった。企画提案内容等を審査会において審査したところ、左記の者の提案は本事業目的の理解度及び実施方法において優れていることから評価が高かったため、契約の相手方として選定した。	